

平成27年度 第4回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 平成28年2月3日（水）午後1時00分～3時00分
- 【場 所】 生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 平河、古賀（靖）、山本、櫻木、堺（婦）、笹井、古賀（正）、江崎、松永、大場、柿川、堺（裕）、岡本（敬称略）
- 【欠席委員】 浦、中河原（敬称略）
- 【行政関係者】 村上市民協働部長、岡田市民協働部調整監、中村地域コミュニティ推進課長、高口生涯学習課長、平野生涯学習課青少年担当課長、池田スポーツ推進室長、村上人権・同和教育課主幹、永井地域コミュニティ推進課青少年教育担当主査、古家地域コミュニティ推進課社会教育主事、上田同課社会教育担当職員

◆あいさつ

村上市民協働部長

◆報 告

1 平成27年度筑後地区市町村社会教育委員研修会について

江崎委員、岡本議長より報告。

2 第68回成人式の実施状況について

配布資料『第68回成人式の実施状況について（報告）』に基づき、中村地域コミュニティ推進課長より報告。以下の意見が出た。

委員	地域に消防団があること・活動していることを知らない人が、知る機会になることから、消防団のPRは必要であると感じた。本当は、新成人と年齢の近い若い人がされると、より新成人へのPRになると思うが、活動されていることを知ってもらいたいので、今後も続けてほしい。
委員	成人の日（第1月曜日）ではなく、前日の日曜日にした方が参加者が増えるだろうということで、3年前日程を1日繰り上げたと思うが、報告を見る限り、参加者は以前と変わっておらず、結果が出ていないように感じる。
行政関係者	昨年より参加者数が減少している原因として、天候に恵まれたため屋外にいる新成人が多かった事が考えられる。アトラクション（大牟田高校の演奏）が始まると、圏民ロビーからは人がいなくなったが、外にいた人はスタッフが誘導しても最後まで中に入らなかった。参加者が少しずつ減ってきているが、原因が日程の問題だけでも言い切れないので、悩ましいところである。
委員	消防の出初式に重なっているのもどうか。
委員	毎年消防の出初式に出ているが、なぜ成人式と同日にするのだろう。消防団の人は休日の問題から、日曜日でないといけないのではないだろうか。

委員	以前の新成人へのアンケートから、現在の日曜日開催になったのだろうか。
委員	日程に関しては、検討課題の一つではないか。

◆議 題

1 ホームページへの掲載について

配布資料『社会教育委員の会議／大牟田市ホームページ』に基づき、古家地域コミュニティ推進課社会教育主事より説明。

2 社会教育委員の会議を振り返って

以下の意見が出された。

委員	年4回、会議を行っているのは珍しいのか。
行政関係者	回数は市町村によって様々だが、多い自治体の特徴として、教育委員会からの諮問に対する答申を決する場合や、提言書をまとめる場合等が挙げられる。場合によっては、少人数の部会やワーキンググループで会議を行う。
委員	<p>前回の会議でホームページ（以下「HP」）での委員からのメッセージに関する協議で、『おおむたっ子的話・HPにメッセージを掲載すること・社会教育委員で何か事業ができないか・分科会の開催』の4点があったと思うが、これらの反省点を踏まえて今後の取組みについて考えていくと良いと思う。前回会議で「小さいときからの集団での体験」という意見は今後の会議にどうつなげていくかが検討課題ではないだろうか。</p> <p>他の委員の方の活動内容についてももっと知りたいと思っている。また、行政からはいろんな提案事項や冊子により、社会教育に関する情報をいただくが、社会教育委員がそれに対し何をしてこれたか。委員の方はそれぞれの分野（ガールスカウトやおおむたっ子等）で、実践されている一方、私自身は何ができたのだろうかと考え、何もできていない。</p>
委員	社会教育委員の役割をどう果たしていくか。
委員	それぞれ活動しているが、社会教育委員の会議では社会教育としての活動であるため、それぞれの所属する団体での活動とは違うものと考えている。現在、会議では様々な報告・協議事項に関して、意見を出すだけとなっている。確かに、社会教育委員の仕事の一つではあるが、他の地域ではそれ以上・以外のことをたくさんされているように感じる。大牟田市の社会教育委員がどのような方向に進もうとしているか、社会教育委員が大牟田の何をどうするかというのが、今後の社会教育委員の動きになるのではないだろうか。
委員	将来のことを考えた上で、共通のテーマができるかどうかで、社会教育委員の会議の方向性が決まるのではないだろうか。

委員	<p>「共通のテーマ」が議題になっているが、その中で社会教育の基本の「必要課題・要求課題」の2つを柱として考えていかなければならないのではないだろうか。</p> <p>必要課題とは、大牟田市が市としてたくさんある教育の課題の中で真っ先に取り組むべきものを考えていくことで、共通する課題・テーマが出てくるのではないだろうか。</p> <p>要求課題を考えると、各専門分野で活動されている皆さんが住民の立場から考えたときに、何を実際に学ぼうとしているのかを考えるのも一つの方法ではないかと考える。</p> <p>必要課題と要求課題を同時に解決するのは難しいが、要求課題に関しては、市民の立場として、社会教育委員から出た意見を一つにまとめていくことはできるのではないだろうか。もう一つの必要課題については、市として取り組むものであるため、社会教育委員として市の施策等の勉強会が必要となってくるのではないだろうか。</p>
委員	<p>社会教育は内容が広く深いため、活動については非常に難しい。会議の場で報告を聞くだけでは、とっさには意見が浮かばず、思いつきの意見では力になれないので何か深めなければという意識を持っていた。そのため、3つ程度の分科会を作り、もう少し深い研修や研究、行政からの提案に対する踏み込んだ意見を述べるができるのではと考えていたが、現実的には時間もかかり、会合も増えるため、難しいと思う。社会教育委員は行政から社会教育に関する提案・施策等の説明を受けるので、全市的な社会教育の動きが分かり、理解が深まった。ここで得た情報を校区で紹介したり、活かしたりしている。また、会議の内容を自分の出身母体の会議で報告することで、還元することができるのではないだろうか。私は社会教育の主体は行政であると思っているので、社会教育委員ができることは意見を述べるくらいかと思っている。</p> <p>ひとつ、会議の開始時間について意見がある。会議開始が13時からであるが、午前中に別の会議等、予定があった場合、13時はなかなか厳しい。私は13時30分開始が良いのではないかと考えている。</p>
委員	<p>公民館利用者として、社会教育委員をやらせてもらっている。任期毎に地区公民館をまわっているので、任期が終了する6月30日になったら、次の公民館のサークル連絡会の会長になる。当番が回ってきて、社会教育について分かってきた頃には任期が終わってしまう。多くの方に知ってもらいたいが、サークル連協の会議の場で他の役員の方に社会教育委員の会議について等お知らせはしているが、慣れた頃には任期が終了し、次の公民館に担当が回っている。2年ごとの当番制のために、十分な活動ができないことについてどうお考えか。</p>
行政関係者	<p>在り方については、公民館利用者ということでサークルの代表の方に来てもらっている。</p>

	<p>そのためサークル連協の会長が変われば、任期の途中であっても代表が変わることがあり得る。委員の皆様の中には、社会教育委員の会議の場でどういったことができるかを考えていく中で、出身母体に情報を紹介することで、納得しながらの任期だったのではないだろうか。</p> <p>行政の立場から申し上げると、社会教育委員の会議の場は行政が提案する計画案や施策等に様々な所属あるいは分野の委員の皆様から、意見をいただける貴重な場であると考えている。他自治体では会議の中で部会を設け、様々な活動をされている場合もあるが、そのような自治体では大牟田ほど社会教育を実行する団体がいないため、社会教育委員の会議の担うべき役割が多岐に渡るのかもしれない。大牟田の場合、公民館の利用・地域活動・文化団体・スポーツ団体等活動している団体が多岐に渡っている。団体ごとに様々な活動の経験や実績をつまれている土壌がある中で、社会教育委員の会議はそのような団体の代表の方に行政に意見をいただく機会であると考えている。会議の回数に関する意見をお持ちの委員もおられると思うが、今任期中は計画策定が多い中、様々な意見を頂き、今後新しい総合計画など社会教育の環境が変化していく。学校教育に地域がどう関わっていくかという問題もある中、このように一堂に集まって意見をいただける機会は行政の中でもあまりないため、行政の立場からすると大変ありがたい機会である。</p>
委員	任期の話が出ましたが、PTAもそのような仕組みになっていますよね。
委員	1年なのでなかなか理解ができない。
委員	以前は、委員全員が1年の任期だったため、何もできないと事務局に言い続けてようやく2年になった。PTA関係は役員の方がなられるということで、1年ごとに変わる。
委員	<p>前回もお話しましたが、PTA代表は子どもが在学中に話をいただくので、子どもが卒業するとPTAでなくなるため、その辺の兼ね合いで1年で変わるのだと思う。参加させていただき、1年でできる限り勉強させてもらい、1年だけだったが社会教育委員の役割や活動は分かった。100人そろえば100通りではないが、PTAは1年ごとに人が変わるが、新しい方になれば新しい風が入るのではないかと考えられる。もちろん2年すれば新しい効果が出るかもしれないが。</p> <p>私は小P連代表でいくつかの委員に所属させてもらっているが、それぞれの目的に応じて所管課があるので難しいとは思いますが、委員会や目的によっては統合した方が良いのではないかと年間を通して感じた。</p> <p>また機会があれば、勉強させていただきたいと思っている。</p>
委員	会議の摘録が配布されるかと思うが、摘録を振り返ることで、前回どのような意見が出たかを確認しておけば、意見が出せるのではないかと思った。自分自身、振り返りが足りず、なかなか意見が言えなかったのです。

委員	<p>会議の開始時間についてだが、以前は現在より遅く開始していたが、P T A関係の方から、子ども達の下校・帰宅時間と重なると困るという意見が出され、13時開始になった。そのような経過もあり、調整も難しい。</p> <p>委員の活動として、お隣のみやま市では、挨拶運動など社会教育委員全員での活動がなされている。先日の研修会も全員で参加されていた。素晴らしいと思ったが、現実的にそういうことができるかどうかは分からない。</p>
委員	<p>発言したいが、トピック（話題）の全体像が把握できていないため場違いなことを言うのではないかと不安があると思う。私は、提案について（内容によってできない場合も多いと思うが）、その分野に詳しい委員の方に何が議論の焦点なのか等、解説していただけたら発言しやすくなるのではないかと感じた。</p>

◆その他

1 第44回大牟田市町内公民館研究大会の案内について

委員のみ配布資料『第44回大牟田市町内公民館研究大会のご案内』に基づき、中村地域コミュニティ推進課長が案内を行った。

2 「おおむた子ども支援ガイドブック」について

配布資料『おおむた子ども支援ガイドブック』に基づき、村上人権・同和教育課主幹が説明した。

3 冬の人権連続講座について

配布資料『冬の人権連続講座』に基づき、村上人権・同和教育課主幹が説明した。

4 ふるさと大牟田講座・生涯青春まなびの扉 展示発表について

配布資料『ふるさと大牟田講座・生涯青春まなびの扉 展示発表』に基づき、古家地域コミュニティ推進課社会教育主事が説明した。